

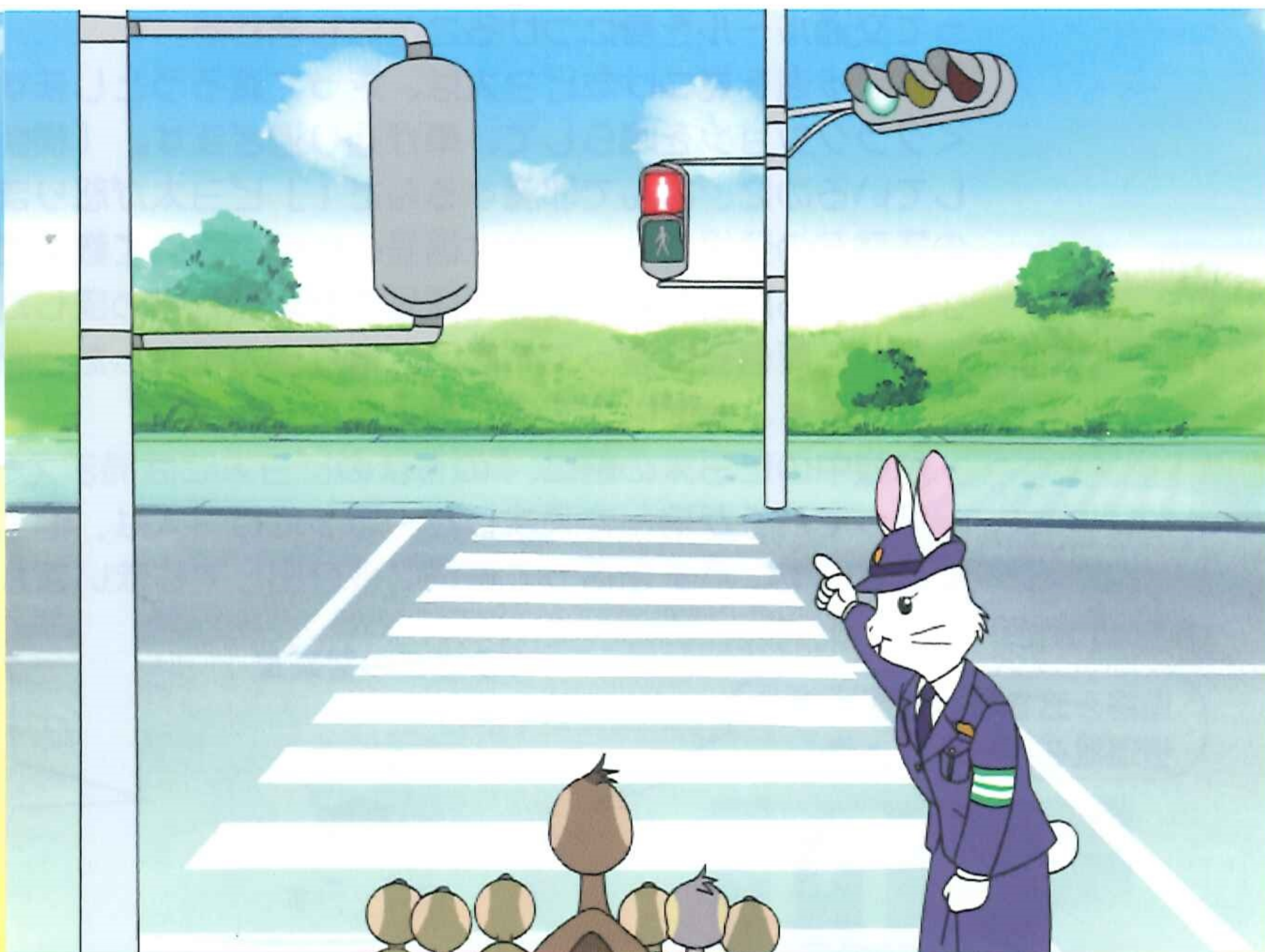
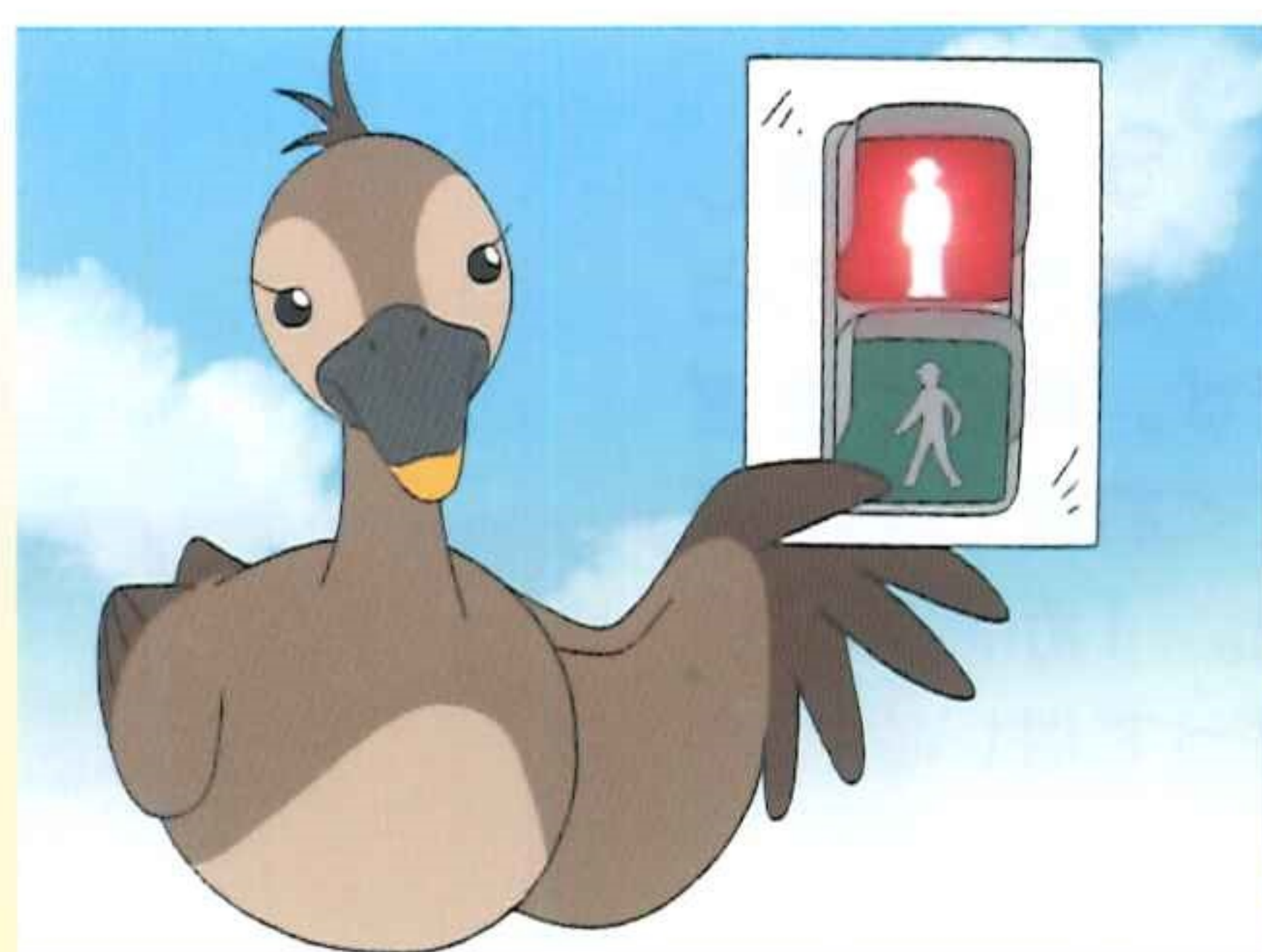
(財) 全日本交通安全協会 推薦

文部科学省選定

カルガモ親子の



こ う つ う あ ん ぜ ん
交 通 安 全



【製作意図】

交通事故の発生率を年齢層別に見てみると、三歳から六歳までの幼児の事故が最も多い比率を占めています。その原因のほとんどが「飛び出し」「車の直前直後の横断」によるものです。

そうした幼児の交通事故を防ぐために、子どもたちにも分かりやすいアニメーションで描き、キャラクターにはユニークなカルガモ親子を設定しました。のんきなカルガモ母さん率いるカルガモ一家のお引越しをテーマに、視聴する幼児が愛らしいカルガモのヒナたちの一挙一動にハラハラしながら、自然と交通ルールを学べるように工夫して製作しました。

企画・製作 株式会社 教 配



◆カラー作品・13分

おやこ こうつう あんぜん カルガモ親子の交通安全

◆ あらすじ ◆

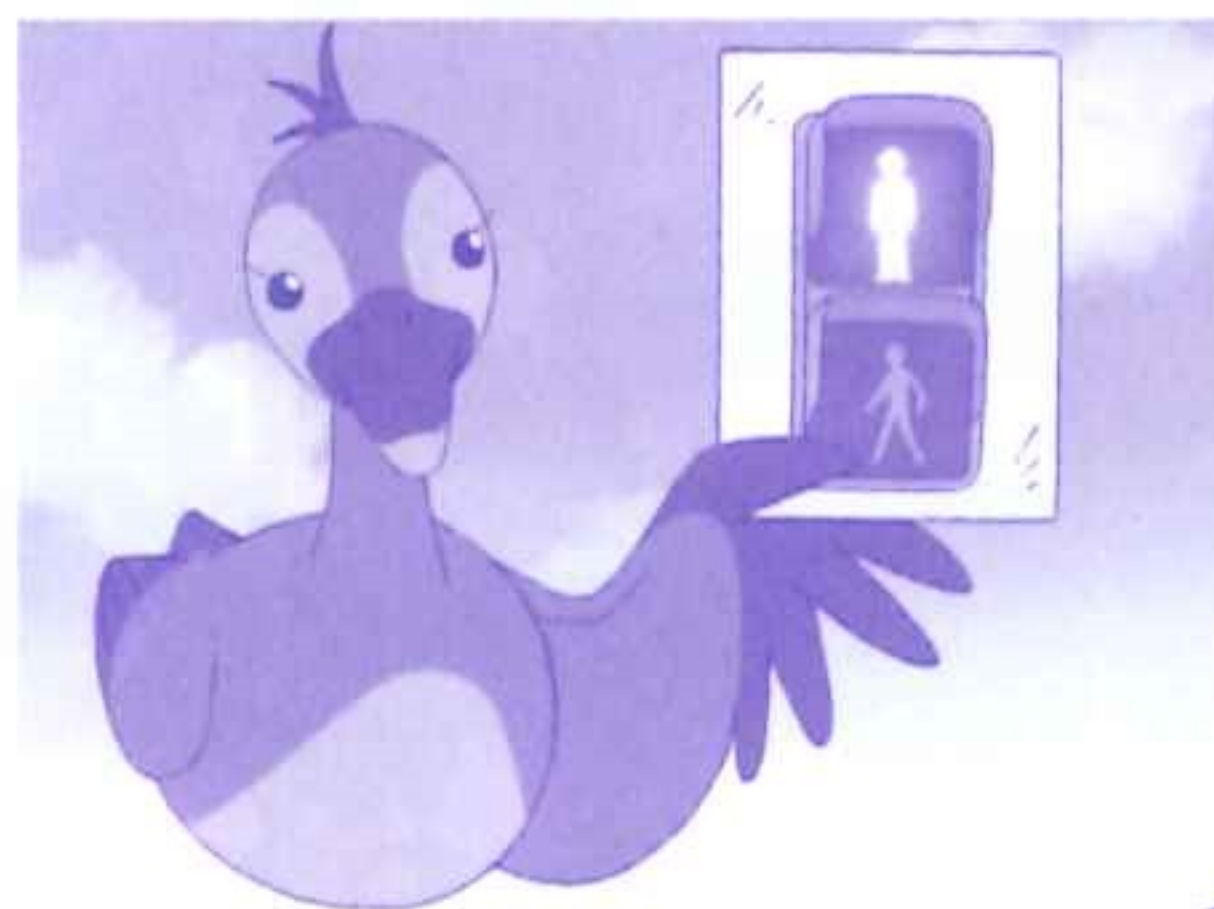
ある森で、カルガモの赤ちゃんが生まれました。赤ちゃんも大きくなり、今日はいよいよ池へお引越しです。池に行くには、車のたくさん通る大きな道路を渡らなくてはなりません。子ガモのピヨ太が道路に飛び出します。「プッ、プー」クラクションが鳴りました。そこへ大きなトラックが！「ピーッ」とホイッスルの音がします。ウサギの警察官がやって来て、花子さんとピヨ太たちに交通ルールを教えてくださいました。「道路を渡る時は、横断歩道か歩道橋を渡るのよ」花子さんたちは、森へ帰って交通ルールを身につけることにしました。

横断歩道を見つけたピヨ太は、走って渡ろうとします。すると、激しくクラクションを鳴らして、車が通り過ぎます。「横断歩道を渡ろうとしているのに、なんで邪魔するんだ！」ピヨ太が怒ります。再びうさぎの警察官の登場です。今度は信号の約束について教えてくださいました。花子さんたちはまた森に戻って信号のお勉強を始めました。「赤信号は渡らない、青信号は渡っても良い、青がチカチカしたら渡ってはいけません！」さあ、今度は大丈夫かな。

勉強中のピヨ太の前に、「のろまのピヨ太には捕まえられるだろう」と言ってハチが飛んで来ました。怒ったピヨ太は、信号も、右も左も確認しないで、ハチを追って道路に飛び出してしまいました。

うさぎの警察官

道路を渡る時は横断歩道か歩道橋を渡りましょう。



信号のある横断歩道では、信号に従って渡りましょう。赤信号は渡らない、青信号は渡っても良い、青がチカチカしたら渡ってはいけません。

みんなはちゃんと交通ルールを守ろうね。



道路を渡る時は手を上げて、右を見て左を見て、もう一度右を見て車が来ないのを確認してから渡りましょう。



渡っている途中で青信号がチカチカしたら、急いで渡りましょう。

・お問合せ・お申込みは

(映) 有限会社

博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp